

1 平成 18 年度 施策評価結果

事業が完了した後に効果が表われるなど「現段階では成果の把握が困難」とした 6 施策課題を除く 249 施策課題(全体の 97.6%)について、一定の成果があると評価しており、実行計画の成果は着実に上がっていると考えます。

一方で、「課題が残されている」と評価した施策課題が 99 (全体の 38.8%) あり、新実行計画の策定に向けて、事務事業の見直しなど適切な対応が求められています。

施策評価では、新総合計画の各施策の推進による成果を「市民の視点で検証し、市民への説明責任を果たしていく」ことを基本に、実行計画に示している 255 の施策課題について、個々の事業を推進することで得られた、課題の解決に向けた成果を評価し、また、社会環境の変化等による新たな課題発生状況等について検証しました。

施策評価の結果は「A、B、C、Q」の 4 区分で分類しています。区分の内容と評価結果は次のとおりです。

< 図表 3 - 1 評価区分の内容と評価結果 >

評価区分	内 容	施策課題数	構成比
A	順調に目標に向かって、課題解決が図られている施策課題 (社会環境の変化や課題解決を阻害する要因、新たな課題等の発生がないもの)	150	58.8%
B	一定の成果はあるものの、課題が残されているもの (社会環境の変化や課題解決を阻害する要因、新たな課題等があるもの)	99	38.8%
C	課題解決が図られていないもの	0	-
Q	施策課題が主に、調査研究や施設整備の事業で構成されており、事業の実施後に成果が生じる施策課題や、1年で成果を把握するのに馴染まないもの	6	2.4%
合 計		255	100%

} 97.6%

また、総合計画の7つの基本政策別にまとめた評価結果は図表3 - 2のとおりとなっています。

<図表3 - 2 基本政策別評価結果>

	・安全 で快適に 暮らすま ちづくり	・幸せな 暮らしを 共に支え るまち づくり	・人を育 つ心を 育てま ちづく り	・環境を 守り自然 と調和し たまち づくり	・活力に あふれ躍 動するま ちづくり	・個性と 魅力が輝 くまちづ くり	・参加と 協働によ る市民治 理のまち づくり	合計
A 順調に目標 向って、課題解決 が図られている施 策課題	25 61.0%	19 51.4%	21 63.6%	13 35.1%	37 57.8%	16 72.7%	19 90.5%	150 58.8%
B 一定の成果は あるものの課題が 残されているもの	16 39.0%	18 48.6%	11 33.3%	23 62.2%	23 35.9%	6 27.3%	2 9.5%	99 38.8%
C 課題解決が図 られていないもの	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
Q 現段階では成 果の把握が困難な もの	0 -	0 -	1 3.0%	1 2.7%	4 6.3%	0 -	0 -	6 2.4%
合計	41 100%	37 100%	33 100%	37 100%	64 100%	22 100%	21 100%	255 100%

<図表3 - 3 基本政策別評価結果グラフ>

